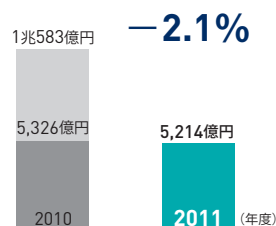


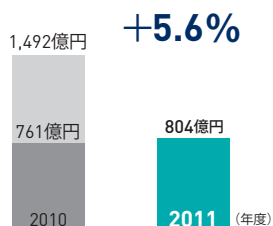
シンエツの見所

■ 上半期 ■ 通期

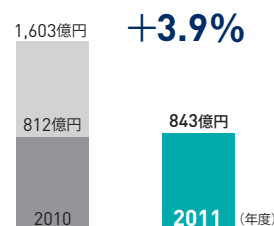
売上高



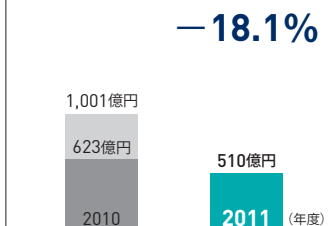
営業利益



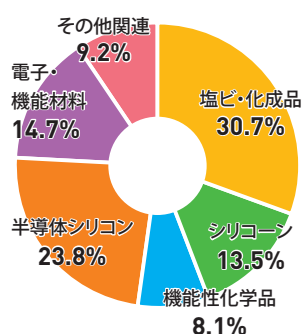
経常利益



純利益



売上高構成比



海外売上高比率

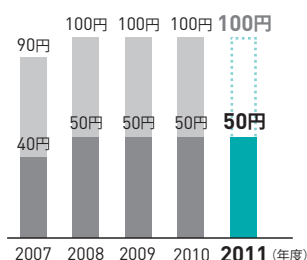
65.2%海外売上高**3,400億円**
国内売上高**1,814億円**

自己資本比率

80.2%純資産**1兆4,995億円**
総資産**1兆8,175億円**

(ご参考：自己資本1兆4,571億円)

配当金

**1株当たり年間100円を予定**

シンエツからのお知らせ

震災から全面復旧いたしました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災にて被災した信越グループの生産拠点の復旧は、6月末をもって完了しました。皆さまからの温かいご支援により、この未曾有の大災害を克服することができました。

震災発生から復旧までの道のり

3月11日	信越半導体(株)白河工場(福島県西郷村)、当社鹿島工場(茨城県神栖市)が被災
4月18日	鹿島工場の光ファイバー用プリフォーム工場が部分的に操業再開
4月20日	信越半導体(株)白河工場が部分的に操業再開
4月28日	鹿島工場の塩化ビニル樹脂工場が部分的に操業再開
5月31日	鹿島工場の塩化ビニル樹脂工場が完全復旧
6月末	信越半導体(株)白河工場が完全復旧し、全生産拠点の復旧が完了

営業、製造、研究開発の三位一体で難局を切り拓き、世界規模での発展を目指し、前進し続けています。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本年3月11日に発生した東日本大震災に際しましては、当社鹿島工場および信越半導体（株）白河工場が被災し、皆さまにご心配をお掛けいたしました。グループが総力を挙げて復旧に取り組んでまいりました結果、予定よりも早く、被災した全ての生産拠点の復旧が6月末に完了いたしました。皆さまからの温かいご支援に、改めて御礼申し上げます。

当上半期の世界経済は、中国、インドで引き続き内需を中心に景気拡大が続く一方、欧米では景気回復に停滞感が見られました。日本経済は、東日本大震災の影響により、なお厳しい環境にあるものの、一部では持ち直しの動きも見られました。このような中、当社グループは営業、製造、研究開発が三位一体となって経営基盤の一層の強化を図り、世界中の顧客に幅広く販売活動を展開するとともに、生産の効率化、新規製品の開発を進めてまいりました。

また、かねてよりカントリーリスクや投資効率などを勘案しながら、世界的な規模で生産拠点の分散化、原料の長期的な安定確保を進め、総合的にリスク管理を強化しています。大震災でもこれらの施策が奏功し、製品供給への影響を最小限にとどめ、迅速な復旧を果たすことができました。

今後とも当社グループは、「強い営業」、「強い製造」、「強い研究開発」により、欧州での債務問題などで金融市場の不透明感が高まる中で、世界経済の回復の遅れや円高の進行など直面する難局を切り拓き、なお一層の成長を期してまいります。

2011年度上半期（2011年4月1日～9月30日）の業績と利益還元

当上半期業績は、連結売上高5,213億6千8百万円（対前年同期比2.1%減）、連結経常利益843億3千万円（同3.9%増）となりました。また、連結純利益は東日本大震災による特別損失の計上、前年同期には移転価格課税に対する日米相互協議の合意による過年度法人税等の戻り入れがあったことなどの結果、510億4千万円（同18.1%減）となりました。

当社では、長期的な観点に立って、事業収益の拡大と企業体質の強化に努め、その成果を株主の皆さまに還元することを基本方針としています。この考え方にに基づき、当上半期の配当金は1株当たり50円とさせていただきます。

主要事業の動向

塩ビ・化成品事業では、世界最大の塩ビメーカーである米国シンテック社が引き続き世界中の顧客への製品供給に注力し、高水準の出荷を続け業績を大きく伸長させました。また、同社ではプラクマン第2工場が操業を開始し、塩ビモノマーの生産能力をさらに高めたことで、原料からの一貫生産体制を強化しました。

半導体シリコン事業は、信越半導体（株）の白河工場が被災しましたが、他拠点が増産対応を速やかに進めて供給責任を果たすと



代表取締役会長



代表取締役社長

金川千尋 森俊三

もに、グループの総力を結集して白河工場の復旧に取り組みました。しかしながら、上半期後半には半導体デバイスの在庫調整などの影響を受けました。

シリコン事業は、大震災の影響で停滞していた国内の自動車分野で需要が回復し、他の分野でも底堅く推移しました。海外では機能製品が堅調に推移し、汎用品はアジア市場での価格低迷の影響を受けました。

その他、セルロース誘導体は国内外とも順調に業績を伸ばし、希土類磁石はハイブリッド自動車や省エネルギータイプのエアコン向けに好調な出荷を続けています。また、フォトレジスト、高輝度LED用パッケージ材料、液晶用大型フォトマスク基板なども堅調に推移しました。

将来を見据えた経営基盤の強化

当社グループは、今後とも品質や生産技術を一層高め、世界市場で確固とした地位を築いてまいります。シンテック社における原料からの一貫生産能力の拡張は将来を見据えた事業基盤の強化の取り組みの一つです。また、オーストラリアのシムコア社では、主要事業の原料となる金属珪素の生産能力倍増に向け、新規生産設備の建設を進めています。さらに中国においては旺盛な需要に対応するためシリコンゴムおよび光ファイバー用プリフォームの工場建設を進め、いずれも当期中に稼働する予定です。研究開発では独自性のある製品および技術開発に取り組み、省エネルギーなどの課題に貢献する新規製品を開発しています。さらにはM&Aなども視野に入れながら、経営基盤の強化に引き続き取り組んでまいります。

安全確保の最優先と公正な経営の推進

当社グループでは、全社を挙げて安全の確保を最優先とし、公正な企業活動を推進しています。さらに、素材と技術を通じて暮らしや産業、社会に貢献することで、一層企業価値を高めてまいります。世界の社会経済情勢が不透明感を増す中、今後とも市況変化などに的確に対応する経営に注力し、皆さまのご期待にお応えしてまいります。皆さまにはなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2011年11月

代表取締役会長 金川千尋

代表取締役社長 森 俊三

事業概況

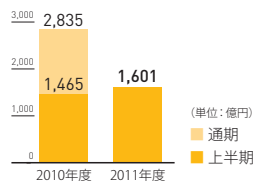
塩ビ・化成品事業

- ◆ 米国シンテック社が世界中への拡販で高水準の出荷を継続
- ◆ オランダ・シンエツPVC社の出荷も堅調
- ◆ 国内は震災や上半期後半に需要家の生産調整の影響で低調

主要製品：塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン

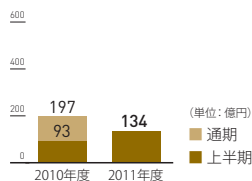
売上高

+9.3%



営業利益

+44.2%



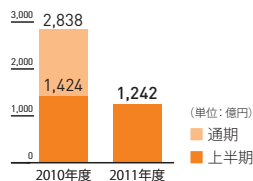
半導体シリコン事業

- ◆ 上半期前半は震災の影響を受けるも他拠点の増産などで対応
- ◆ 上半期後半は、需要が急速に悪化した顧客の在庫調整もあり低迷

主要製品：半導体シリコン

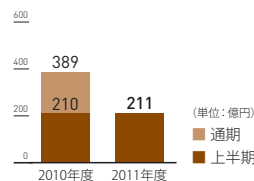
売上高

-12.8%



営業利益

+0.4%



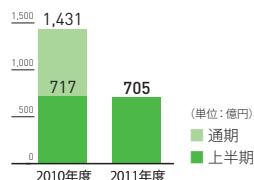
シリコン事業

- ◆ 国内は電気、電子、化粧品向けを中心に堅調
- ◆ 上半期後半から、国内の自動車向けが震災による停滞から回復
- ◆ 海外は機能製品堅調も汎用品で価格低迷

主要製品：シリコン

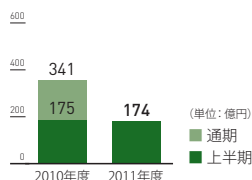
売上高

-1.8%



営業利益

-0.6%



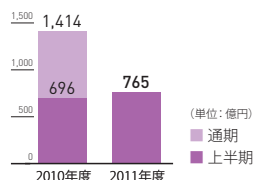
電子・機能材料事業

- ◆ 希土類磁石は出荷好調も、原料価格が急激に上昇
- ◆ フォトレジストは半導体デバイスの微細化進展で堅調
- ◆ 高輝度LED用パッケージ材料の出荷も堅調
- ◆ 合成石英は光材料が震災の影響を受けるも、液晶用の大型製品の出荷は堅調

主要製品：希土類磁石（電子産業用・一般用）、半導体用封止材、LED用コート材、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル

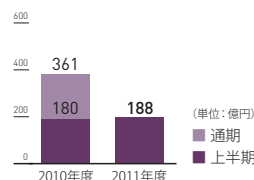
売上高

+9.9%



営業利益

+3.9%



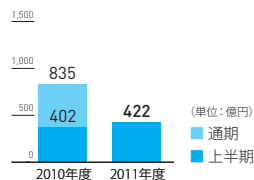
機能性化学品事業

- ◆ 国内のセルロース誘導体事業は医薬用、工業用で伸長
- ◆ 海外のセルロース誘導体事業は建材向けや塗料向けで欧州の需要が回復

主要製品：セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン

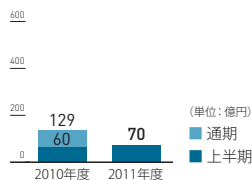
売上高

+5.2%



営業利益

+17.1%



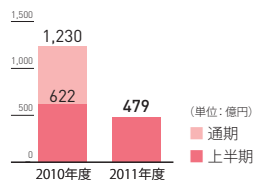
その他関連事業

- ◆ 携帯電話用キーパッドがタッチパネル方式のスマートフォンの普及で低迷
- ◆ ウエハー容器は震災復旧に関連した出荷の一巡後は低調

主要製品：樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

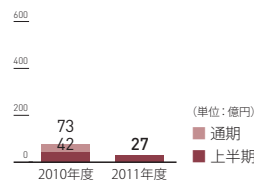
売上高

-22.9%



営業利益

-34.5%



特集：高収益を支える多様な事業

信越グループは塩化ビニル樹脂（塩ビ）と半導体シリコンのほかにも高収益事業を育て、収益の安定化に努めてきました。今回は幅広い製品群を持つ電子・機能材料事業と、多様な用途で使われるシリコン事業の2つの事業をご紹介します。

電子・機能材料事業

ハイブリッド車や電気自動車などに使われる希土類磁石や光ファイバーの材料となるプリフォームなど、成長産業向けの素材をはじめ、フォトレジストやフォトマスクブランクスなどの幅広い半導体材料や電子材料を取り扱っています。

希土類磁石

パソコン、自動車、省エネ家電など身の回りの製品に組み込まれている各種モーターや、近年、再生可能エネルギーとして注目される風力発電の発電機などには強力な磁力を持つ当社の希土類磁石が使用されています。



ハイブリッド自動車



風力発電

半導体材料

世界中で普及が進むスマートフォンやパソコン。信越グループでは、これらIT機器に使用される半導体デバイスの製造過程で必要なフォトレジストやフォトマスクブランクスなどを提供しています。



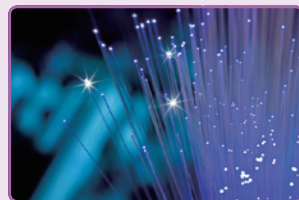
スマートフォン



パソコン

光ファイバー用プリフォーム

高度情報化社会の発展を支える光ファイバーの母材となる光ファイバー用プリフォームは合成石英から作られています。信越化学は、光ファイバー用プリフォームや、液晶パネル量産のための原版に使われる液晶用大型フォトマスク基板など、多くの合成石英製品を取りそろえています。



光ファイバー

ShinEtsu
世界トップシェア製品

信越グループは、ICの基板になるシリコンウエハーの世界No.1 サプライヤーとして、300mm ウエハーやSOIウエハーなど、高品質の製品を世界中の顧客に安定供給しています。

半導体シリコン

塩化ビニル樹脂

生活用品から建築・土木用資材全般に幅広く利用されている塩化ビニル樹脂。世界一の塩ビメーカーである米国シンテック社に加えて、欧州、日本の拠点をもち、世界中の顧客へ販売しています。

シリコン事業

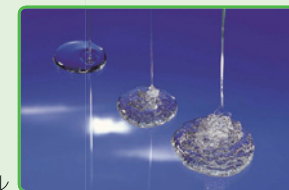
シリコンは、オイル、レジン、ゴムなどのさまざまな形状と多彩な機能を持つ製品です。そのため幅広い分野で使用されており、特定の産業の景気動向に左右されにくい事業です。信越グループは60年近くにわたって培った技術開発力、販売力を生かし、新たな需要の開拓に取り組んでいます。

シリコンとは

地球の表層に豊富に存在するケイ石から作られる金属珪素に、複雑な化学反応により作り出されるのがシリコンです。無機と有機の性質を兼ね備えた合成樹脂で、当社は5,000種類以上の製品を取りそろえています。高温や低温に強い、紫外線にさらされても劣化しにくい、電気を絶縁する、水をはじくなど、さまざまな特性を持っています。なお、半導体や太陽電池に使われるシリコンは無機物で、シリコンとは別の製品です。

幅広い用途

シリコンは、さまざまな特長を持つことから、パソコンや携帯電話、自動車、化粧品、事務機器、住宅、医療用品から宇宙開発に至る幅広い分野で利用されています。最近注目されているLEDパッケージ材料や化粧品材料、調理用品などの用途も広がり、新技術や新製品の開発に欠かせない材料となっています。



シリコンオイル



LED電球



携帯電話



コンタクト
レンズ



化粧品

事業基盤強化のための取り組み

原料にさかのぼっての生産を強化

塩ビモノマー工場が完成

米国子会社のシンテック社のルイジアナ州ブラクマン工場で建設を進めていた、塩ビの原料となる塩ビモノマーの工場（第2工場）が完成しました。同工場の完成により、塩ビ事業の中核を担うシンテック社の原料からの一貫生産が強化され、ブラクマン工場の年間生産能力は全体で、塩ビモノマーが160万トン、塩ビが60万トン、か性ソーダが106万トンとなります。なお、シンテック社全体の塩ビの年間生産能力は264万トンです。



シンテック社ブラクマン工場

事業拡大のための海外拠点の拡充

ドイツのSEタイロース社では当期から医薬用セルロース製造設備の稼働を開始し、サンプル出荷を始めております。また、中国江蘇省ではシリコン製品と光ファイバー用プリフォームの新工場を建設中で、需要の伸びが期待される中国市場での拡販を目指してまいります。オーストラリアのシムコア社では、半導体シリコン、シリコン、合成石英など、当社の主要製品の原料となる金属珪素の増設工事を進めています。



シリコンの中国工場の完成予想図

TOPICS

会社概要 (2011年9月30日現在)

商 号：信越化学工業株式会社
 設 立：1926年9月16日
 資 本 金：119,419,688,785円
 本 社：〒100-0004
 東京都千代田区大手町
 二丁目6番1号
 電 話：03 (3246) 5091
 U R L：http://www.shinetsu.co.jp/j/
 従業員数：16,119名（連結）

役 員 (2011年9月30日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ ^{*1}	常勤監査役	岡田 理
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資 ^{*1}	監査役	渡瀬 昌彦
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅 ^{*1}		福井 琢 ^{*2}
	斉藤 恭彦		福井 俊彦 ^{*1}		小坂 義人 ^{*2}
代表取締役専務	小野 義昭		小宮山 宏 ^{*1}		永野 紀吉 ^{*2}
常務取締役	幅田 紀一		宮島 正紀		
	高杉 晃司		荒井 文男		
	石原 俊信		笠原 俊幸		
	轟 正彦		小根澤 英徳		
	秋本 俊哉		中村 健		
			松井 幸博		
			岡本 博明		

^{*1} 社外取締役
^{*2} 社外監査役

株式の状況 (2011年9月30日現在)

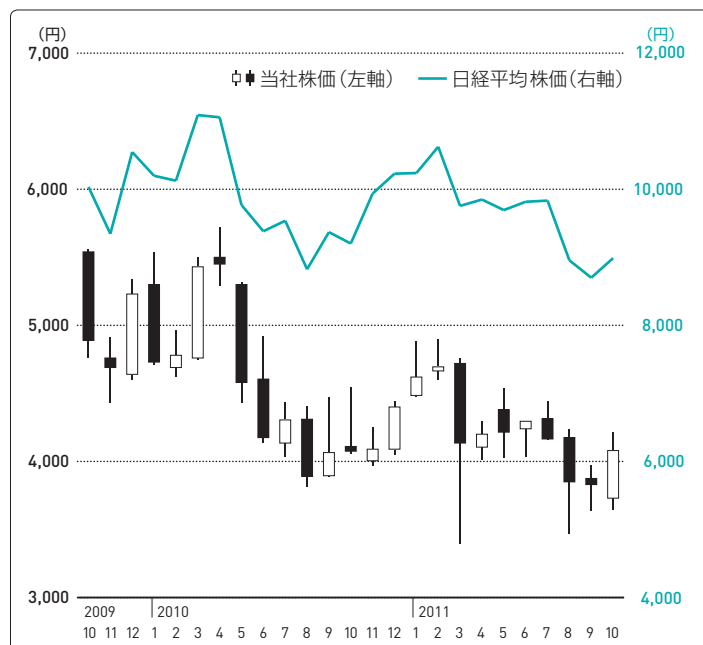
発行する株式の総数：1,720,000,000 株
 発行済株式総数：432,106,693 株
 （注）自己株式7,511,666株が含まれております。
 株主の総数：74,478 名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	33,825	8.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	31,451	7.4
日本生命保険相互会社	24,370	5.7
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	11,635	2.7
明治安田生命保険相互会社	10,962	2.6
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	8,663	2.0
日本興亜損害保険株式会社	7,077	1.7
メロンバンク エヌエーアズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	6,311	1.5
オーエム04エスエスピークライアントオムニバス	5,390	1.3

（注）当社は、自己株式7,511,666株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
 期末配当受領株主確定日：3月31日
 中間配当受領株主確定日：9月30日
 定 時 株 主 総 会：毎年6月
 公 告 掲 載 方 法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
 （http://www.shinetsu.co.jp/j/index.shtml）
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 単 元 株 式 数：100株
 上 場 証 券 取 引 所：東京・大阪・名古屋
 株 主 名 簿 管 理 人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の管理機関
 同 連 絡 先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711（通話料無料）

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等 にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などのご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	